

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 乳腺外科 村井美知子

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 村井美知子

【研究代表者】

聖路加国際病院 乳腺外科 村井美知子

トリプルネガティブ乳癌(TNBC)の方を対象とした 臨床的・病理学的特徴および予後に関する研究

1.研究の対象

乳房の針生検でトリプルネガティブ乳癌(TNBC)と診断された患者さんにおいて、2009年1月1日から2012年3月31日までに当院で手術した方々のデータを調査します。

トリプルネガティブ乳癌とは、乳癌のうち約15%程度を占めている乳癌です。女性ホルモンの影響で増大せず、HER2 タンパクというタンパクも過剰に出ていないという特徴があります。

2.研究の目的・方法

TNBC は他の乳癌と比較して、自覚症状がある状態で発見されることが多いのが特徴です。しかし少数ですが自覚症状がなく検出されるものも存在します。そこで今回、自覚症状の有無で TNBC を分け、臨床学的・病理学的および予後にどのような相違があるのかを検討することにしました。

研究期間：当法人 研究倫理審査委員会承認後～2019年12月31日

3.研究に用いる試料・情報の種類

データ項目は以下のものになります。

臨床的特徴(腫瘍径、リンパ節転移、clinical stage)、病理学的特徴(NG, MIB-1)、年齢、月経状況、超音波画像の特徴(形状、境界、D/W、内部エコー、後方エコー、血流)術後の局所再発・遠隔再発の有無、死亡の有無、治療の種類